

# 環境経営レポート

対象期間：2020年度（2020年7月～2021年6月）



私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業家です  
®環境省  
エコアクション21  
認証番号0005885

## 株式会社二川工業製作所

作成日：2021年 8月18日

# 1. 環境経営方針

## 環境経営基本方針

- 1、環境経営マネジメントシステムの構築を図り、その適切な運用により、環境保護に結びつくよう継続的な改善を目指します。
- 2、弊社が行う事業活動において、環境に影響を及ぼす要因の中で、次の事を重点テーマとして取り組みます。
  - ・二酸化炭素排出量の削減
  - ・産業廃棄物排出量の削減
  - ・総排水量の削減
  - ・化学物質の適正管理
  - ・自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境負荷の低減
- 3、環境に関する法律、規制及び組織が認める外部からの要求事項を遵守します。
- 4、従業員に環境教育を実施し、環境方針の理解と環境に関する意識の向上に努めます。
- 5、事業環境の変化を的確に把握し、新規顧客開拓に努めます。

制定日 2007年12月 1日

改定日 2020年 9月 4日

株式会社 二川工業製作所

代表取締役社長 二川 昌也

## 2. 事業活動の概要

### 1. 事業所名 及び 代表者

事業所名 : 株式会社 二川工業製作所  
代表者 : 二川 昌也

### 2. 全社所在地(認証登録範囲とする)

本社工場 : 兵庫県加古川市平岡町二俣249番地1  
TEL 079-437-8110 FAX 079-437-0316  
二見工場 : 兵庫県加古郡播磨町東新島13番地  
TEL 078-941-2669 FAX 078-941-8152  
尾上工場 : 兵庫県加古川市尾上町池田1885番地の1  
TEL 079-426-8530 FAX 079-426-8531  
神戸工場 : 兵庫県神戸市西区見津が丘7丁目5-5  
TEL 078-994-0200 FAX 078-994-0250  
  
陵南工場 : 兵庫県加古川市野口町水足123-15  
野口工場 : 兵庫県加古川市野口町水足123-27  
稲美工場 : 兵庫県加古郡稲美町岡537

### 3. 環境管理責任者 及び担当者名・連絡先

環境管理責任者 : 山本 隆史 (二見工場 工場長)  
連絡先 : 二見工場 TEL 078-941-2669 FAX 078-941-8152  
  
事務局 : 大霜 宏之 (加古川工場 生産技術課)  
連絡先 : 加古川工場 TEL 079-437-8110 FAX 079-437-0316  
  
担当者 : 家氏 一彦 (尾上工場 生産技術課 課長)  
連絡先 : 尾上工場 TEL 079-426-8530 FAX 079-426-8531  
  
担当者 : 川本 晃大 (神戸工場 生産技術課 係長)  
連絡先 : 神戸工場 TEL 078-994-0200 FAX 078-994-0250

### 4. 全事業の内容(認証登録範囲とする)

建設機械装置及び部品、産業用ロボット部品、油圧機械部品の機械加工・板金加工及び塗装・組立

### 5. 事業規模

規模	単位	#58期	#57期	#56期
		2020年度	2019年度	2018年度
		'20/7~'21/6	'19/7~'20/6	'18/7~'19/6
売上高	百万円	7,196	5,889	8,285
従業員数	人	250	240	227
床面積	m2	19,862	19,862	19,862

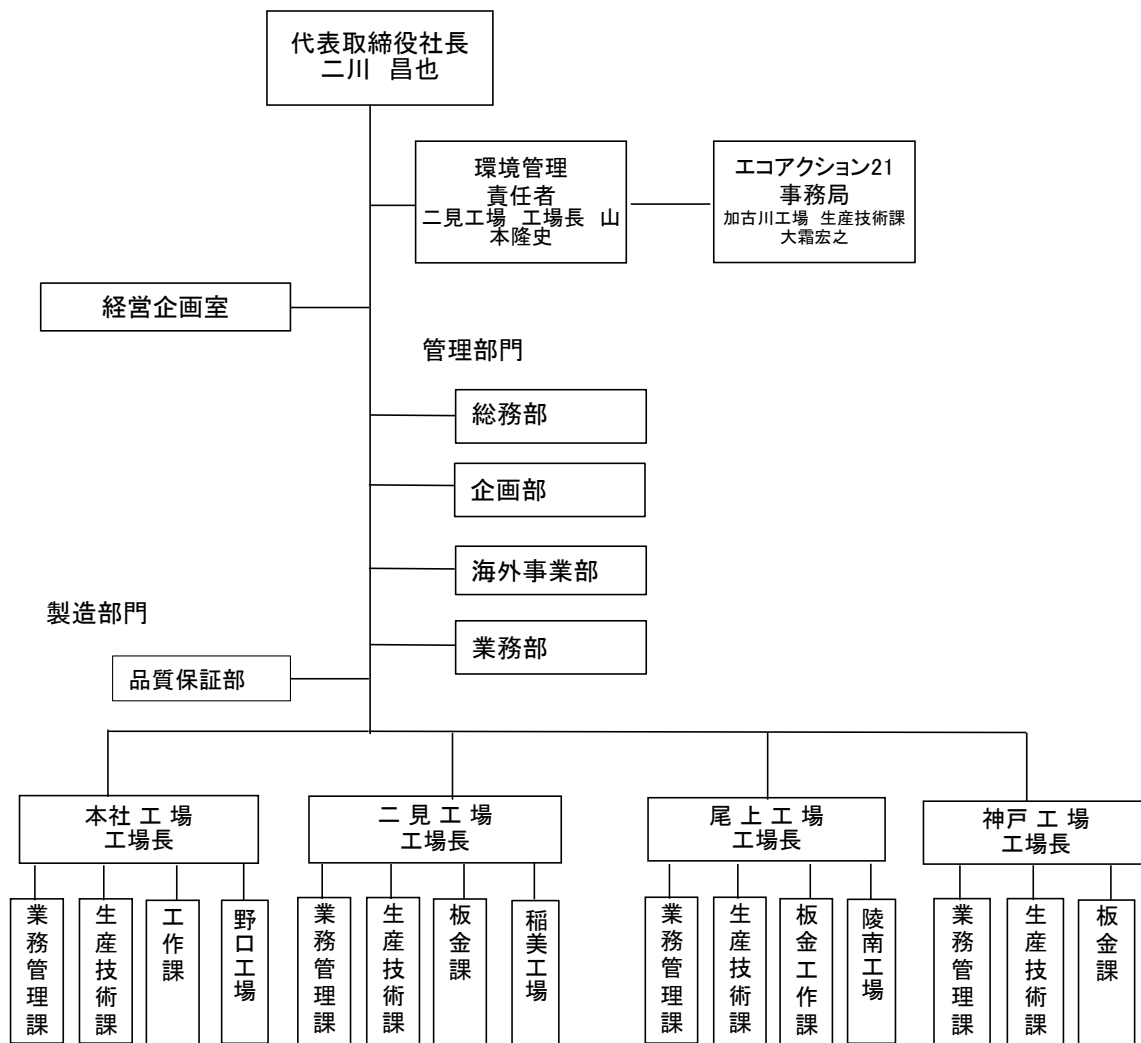
### 6. 事業年度

7月～翌年6月

更新日: 2021年7月1日

代表者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

## 3-1. エコアクション21改善推進体制



更新日:2021年7月1日

代表者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

## 3-2. エコアクション21改善推進体制

● 社長は実施体制における、各自の役割・責任及び権限を以下の通りさだめる。

### 1) 代表者

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境経営方針・環境目標の決定並びに見直し
- ・環境管理責任者を任命
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- ・環境活動計画の承認
- ・代表者による全体の評価と見直しを実施
- ・環境経営レポートの承認

### 2) 環境管理責任者

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境目標・環境活動計画書を確認
- ・環境教育計画の承認
- ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
- ・環境経営レポートの確認

### 3) 各工場長

- ・該当環境関連法規等とりまとめ表の確認・承認
- ・環境目標、環境活動計画書、環境教育の活動状況確認
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括
- ・緊急事態発生時の対応と報告

### 4) EA21事務局

- ・環境管理責任者の補佐
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
- ・環境目標、環境活動計画書、環境教育計画原案の作成
- ・環境活動の実績集計の取り纏め
- ・該当環境関連法規等とりまとめ表の作成と遵守評価の実施
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ・環境経営レポートの作成、公開(地域事務局への送付)
- ・自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境負荷低減

### 5) 部門長

- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・自部門における環境方針の周知
- ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況報告
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告

## 4. 環境目標 実績と計画

環境目標項目	実績値	基準年度		環境目標値（対売上比）					
		2018年度	2018年度 18/7～'19/6	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		19/7～'20/6		20/7～'21/6	21/7～'22/6	21/7～'22/7	21/7～'22/8		
原単位（量/売上）	売上高(億円)	82.85	売上高(億円)	58.89	71.96				
二酸化炭素排出削減			低減目標率	-1%	-2%	-8%	-8%	-9%	
	1,380,235	2018年度	目標値	40,592	40,182	4,856	4,807	4,759	
	kg-CO2	41,002	実績値	33,622	19,181				
エネルギー使用量の削減			低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
電力	電力使用量の削減	5,744,427	基準値	目標値	86,169	85,298	84,428	83,557	82,687
		kwh	87,039	実績値	85,109	79,828			
化石燃料	都市ガス使用量の削減	101,049	基準値	目標値	1,575	1,559	1,543	1,527	1,511
		m <sup>3</sup>	1,591	実績値	1,504	1,404			
	ガソリン使用量の削減	6422	基準値	目標値	108.8	107.7	106.6	105.5	104.4
		ℓ	109.9	実績値	82.5	89.2			
	軽油使用量の削減	39,280	基準値	目標値	660.6	654.0	647.3	640.6	633.9
		ℓ	667.3	実績値	586.8	545.9			
	灯油使用量の削減	5,123	基準値	目標値	99.1	98.1	97.1	96.1	95.1
		ℓ	100.1	実績値	56.9	71.2			
産業廃棄物排出量の削減			低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
廃プラスチック排出量の削減	15,000	基準値	目標値	269.5	266.8	264.0	261.3	258.6	
	kg	272.2	実績値	251.6	208.4				
木くず排出量の削減	66,790	基準値	目標値	557.9	552.2	918.9	909.7	900.6	
	kg	563.5	実績値	462.3	928.2				
紙の使用量の削減	1,602	基準値	目標値	26.58	26.31	26.04	25.78	25.51	
	kg	26.85	実績値	34.27	22.26				
総排水量削減			低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
水の総排出量の削減	9,976	基準値	目標値	108.0	106.9	105.8	104.7	103.6	
	m <sup>3</sup>	109.1	実績値	89.3	138.6				
化学物質使用量削減	適正管理 管理値: 6.97kg/台	管理値: 6.97kg/台	目標値	適正管理 管理値: 6.97kg/台	適正管理 管理値: 6.97kg/台	適正管理 管理値: 6.97kg/台	適正管理 管理値: 6.97kg/台	適正管理 管理値: 6.97kg/台	
化学物質適正管理			実績	適正	適正				
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み			目標	掘り起こす	掘り起こす	掘り起こす	掘り起こす	掘り起こす	
			実績	該当なし	該当なし				

- \* 2020年7月～12月の購入電力は、基準値で使用した関西電力の実排出係数調整後(環境省 平成31年度) : 0.418(kg-CO2/kwh)を使用しています
- \* 2021年1月～6月の購入電力は、アスエネ株式会社 実排出係数調整後: 0.000 (kg-CO2/kwh)を使用。今後もアスエネ(株)を使用します
- \* 来年度の二酸化炭素の排出削減の目標は、購入電力のCO2排出量がゼロになる為に、基準値から大きく削減(-88%)する目標値に変更した
- \* 木くず排出量の削減目標値は、2020年度を基準値として、1%下げる目標に変更した

### 5. 主な環境活動計画の内容（2020年度活動フォロー）

承認	作成
社長 山本	大霜

事業年度：7月～翌年6月

◎：完全に実施している ○：ほぼ取り組んでいる △：少し取り組んでいる ×：取り組んでいない

環境目標・環境活動計画の項目	推進部門 推進担当者	取締役	計画内容	目標値	具体的方策の評価											
					2020年						2021年					
					7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
<b>二酸化炭素排出削減</b>																
電力消費量の削減	全部門	山本 工場長	・節電対策の確実な実行 ・冷暖房設定温度の遵守と サーキュレーター活用 ・OA機器不使用時のスイッチオフ ・エアー配管漏れ確認 休日コンプレッサー停止 (CO2の排出係数増大に要注意)	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	大霜社員 川本係長 家氏課長															
化石燃料の削減	全部門	山本 工場長	・リモート会議により工場間の移動を削減する ・アイドリング・ストップ活動の更なる推進 ・運行記録の管理を徹底させる ・急加速・急停止の防止、定速走行の推進 ・改善活動推進による無駄排除と在庫縮減活動		◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
<b>工場廃棄物の削減</b>																
廃プラスチックの削減 (産業廃棄物の削減)	全部門	家氏 課長	・分別廃棄の徹底 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の 確実な提出		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	大霜社員 川本係長 家氏課長															
木くずの削減 (木材資源の有効活用)	業務部門	山本 工場長	・木製パレットの循環使用の徹底 (納入業者へ返却を徹底) ・社内パレットの運用管理の徹底 ・輸入梱包パレットの有効活用。	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
紙の使用量の削減 (紙資源の有効活用)	全部門	蛭塚 工場長	・コピー枚数の削減(部数削減、両面印刷 等) ・再生紙の使用 ・電子媒体活用によるペーパーレスの推進 ・品質記録等のタブレット化による紙縮減と効率化の 拡大		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>総排水量削減</b>																
水の総排出量の削減 (水資源の有効活用)	全部門	蛭塚 工場長	・節水の徹底 ・切削液の浄油頻度を増やす。 ・ハトロール時の蛇口チェック。	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	大霜社員 川本係長 家氏課長															
<b>化学物質排出削減</b>																
化学物質等の取扱いに 対しその管理	二見工場	山本 工場長	・購入量調査・在庫管理の徹底 ・安全データシート( SDS)の保管 ・PRTR法に抵触する物質があれば期限 通りの提出。	適正管理 評価 2.86kg/台	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小谷課長 岩下主任															
<b>フロン排出抑制法</b>																
フロン等の取扱いに 対しその管理	全部門	山本 工場長	空調機・車両の漏洩の有無の点検・記録保管 法令遵守した冷媒廃棄処理	適正管理	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○
	岩井課長 李課長 三木係長 小谷課長															
自らが生産・販売・提供する製品 及びサービスに関する取組み	全部門	蛭塚 工場長	掘り起こす、客先に有効と思われるものは、提案する。 (廃棄物削減と組み合わせる)		該当事項なし											

# 2021年度 環境経営改善活動計画

承認	作成
社長 山本	大霜

事業年度：7月～翌年6月

◎：完全を実施している ○：ほぼ取り組んでいる △：少し取り組んでいる ×：取り組んでいない

環境目標・環境活動計画の項目	推進部門 推進担当者	取組者	計画内容	目標値	具体的方策の評価											
					2021年						2022年					
					7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
二酸化炭素排出削減																
電力消費量の削減	全部門	山本 工場長	・LED照明等への切り替えの更なる検討 ・昼休み一斉消灯 ・冷暖房設定温度の遵守 ・OA機器不使用時のスイッチオフ ・待機電力の削減 ・サーキュレーター更なる活用	基準年度比 ▲2% (売上高当り)												
	家氏課長 川本係長 大霜社員															
化石燃料の削減	全部門	山本 工場長	・リモート会議により工場間の移動を削減する ・アイドリング・ストップ活動の更なる推進 ・運行記録の管理を徹底させる ・急加速・急停止・の防止、定速走行の推進 ・改善活動推進による無駄排除と在庫縮減活動													
	岩井課長 小谷課長 李課長 藤原課長代理															
工場廃棄物の削減																
廃プラスチックの削減 (産業廃棄物の削減)	全部門	家氏 課長	・分別廃棄の徹底 ・産業系のは、納入元への 引き取りを依頼(協議の上)													
	家氏課長 川本係長 大霜社員															
木くずの削減 (木材資源の有効活用)	業務部門	山本 工場長	・木製パレットの循環使用の徹底 (納入業者に返却を徹底) ・社内パレットの運用管理の徹底	基準年度比 ▲2% (売上高当り)												
	岩井課長 小谷課長 李課長 藤原課長代理															
紙の使用量の削減 (紙資源の有効活用)	全部門	蟬塚 工場長	・コピー枚数の削減 (部数削減、両面印刷等) ・ミスプリント/ミスコピーの防止の為に 実行前の再確認を徹底。 ・電子媒体活用によるペーパーレスの推進 ・品質記録等のタブレット化による紙縮減 と効率化の他工場展開													
	岩井課長 小谷課長 李課長 藤原課長代理															
総排水量削減																
水の総排水量の削減 (水資源の有効活用)	全部門	蟬塚 工場長	・節水の徹底 作業工程管理 (栓をしっかり閉める) (栓をこまめに閉める) ・ハトロール時の蛇口チェック ・切削液の濃度管理の徹底	基準年度比 ▲2% (売上高当り)												
	家氏課長 川本係長 大霜社員															
化学物質排出削減																
化学物質等の取扱いに 対しその管理	二見工場	山本 工場長	・購入量調査・在庫管理の徹底 ・安全データシートの保管 ・PRTR法対象物質の期限通りの提出。	適正管理 評価 kg/台												
	小谷課長 岩下主任															
フロン排出抑制法																
フロン等の取扱いに 対しその管理	全部門	山本 工場長	空調機・車両の漏洩の有無の点検・記録保管 法令遵守した冷媒廃棄処理	適正管理												
	岩井課長 小谷課長 李課長 藤原課長代理															
自らが生産・販売・提供する製品 及びサービスに関する取組み	全部門	蟬塚 工場長	1件掘り起こす、客先に有効と思われるものは、提案する。 (廃棄物削減と組み合わせて考える)													
	家氏課長 川本係長 大霜社員															

## 6 環境活動の取組結果の評価

環境目標項目		目標値	取組結果			達成:○ 未達成:×	
取組項目・評価		原単位 (量/売上)	2020年度 '20/7~'21/6	2021年度 '21/7~'22/6	2022年度 '22/7~'23/6		
2020年度実績値		売上高(億円)	71.96			評価	
二酸化炭素排出量の削減	原単位 目標値	40,182				○	
	排出量/売上高	19,181					
	目標値比	48%					
1,380,235 kg-CO2							
電力	電力使用量の削減	原単位 目標値	85,298			○	
	使用量/売上高	79,828					
	目標値比	94%					
5,744,427kwh							
化石燃料	都市ガス使用量の削減	原単位 目標値	1,599			○	
		使用量/売上高	1,404				
		目標値比	88%				
	101,049m <sup>3</sup>						
	軽油使用量の削減	原単位 目標値	654			○	
		使用量/売上高	545.9				
		目標値比	83%				
	39.280ℓ						
	ガソリン使用量の削減	原単位 目標値	107.7			○	
		使用量/売上高	89.2				
		目標値比	1%				
	6422ℓ						
灯油使用量の削減	原単位 目標値	98.1			○		
	使用量/売上高	71.2					
	目標値比	73%					
5123ℓ							
<評価>		【目標達成】 二酸化炭素排出量の削減は、目標値より大幅に削減できています。二川グループの太陽光発電をアスエネ㈱のCO2排出ゼロシステムを活用した効果が出ています。生産量増加の中でも電力使用量も削減できています。化石燃料(都市ガス・軽油・ガソリン・灯油)の使用量も大きく削減できています。各工場が生産工程の効率化や業務の効率化を推進している成果も出たと考えられる。					
産業廃棄物排出量の削減			2020年度	2021年度	2022年度	評価	
産業廃棄物	廃プラスチック排出量の削減	原単位 目標値	266.8			○	
		排出量/売上高	208.4				
		目標値比	78%				
15,000kg							
木くず排出量の削減	原単位 目標値	552.2			×		
	排出量/売上高	928.2					
	目標値比	168%					
66,790kg							
一般廃棄物	紙の使用量の削減	原単位 目標値	26.31			○	
		使用量/売上高	22.26				
		目標値比	85%				
1,602kg							
<評価>		【目標達成】 廃プラスチック排出量は、削減できています。木くずは、支給部品の梱包材が多く、納品や工場間の製品の移動に再利用しているが、量が多く処分せざる負えない状況です。目標値を見直す事とします。紙の使用量は、客先要求のよる紙ベースの提出物や納品書がある為に多く使用しているが、不要な紙の出力防止、裏紙利用の徹底、タブレット化の推進により削減できた。産業廃棄物は、マニフェストの発行と最終処分方法の確認を行っています。					
総排水量削減			2020年度	2021年度	2022年度	評価	
水の総排出量の削減	原単位 目標値	106.9			×		
	排出量/売上高	138.6					
	目標値比	130%					
9,976m <sup>3</sup>							
<評価>		【目標達成】 客先の品質管理が厳しくなり、洗浄工程に大量の水を使用しています。品質優先で節水の意識が薄れてきているので、節水の意識向上に努めます。					
化学物質使用量削減		台:スティック1台	2020年度	2021年度	2022年度	評価	
化学物質適正管理	目標値	適正管理 (6.97kg/台)			○		
	実績	適正					
<評価>		【目標達成】 継続して毎月の購入量を把握し適正管理が出来ている。活動を継続する。					
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み			2020年度	2021年度	2022年度	評価	
	目標値	掘り起こす	掘り起こす	環境負荷削減項目	—		
	実績	該当なし					
<評価>		顧客への提案など、掘り起こしに力を入れたが、該当項目はありません。来期からは、目標数値に拘らず環境負荷削減に繋がる項目を探索し実施して行きます					

\* 2020年7月～12月の購入電力は、基準値で使用した関西電力の実排出係数調整後(環境省 平成31年度):0.418(kg-CO2/kwh)を使用しています

\* 2021年1月～6月の購入電力は、アスエネ株式会社 実排出係数調整後:0.000(kg-CO2/kwh)を使用。今後アスエネ(株)を使用します

## 7. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

### 1) 適用される主な環境関連法規

法規名	当社に適用される要求事項	改正日	チェック日	順守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和45年法律第137号)	第三条 事業者の責務 第十二条 産業廃棄物の適正な処理 産業廃棄物管理票に関する報告書の提出	令和1年6月14日	令和3年6月30日	○
騒音規制法（昭和43年法律第98号）	第五条～第十二条 工場に置ける騒音の規制基準の遵守義務	平成26年6月18日	令和3年6月30日	○
振動規制法（昭和51年法律第64号）	第五条～第十二条 工場に置ける振動の規制基準の遵守義務	平成26年6月18日	令和3年6月30日	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び 管理の改善の促進に関する法律【PRTR法】 (平成11年法律第86号)	第五条 第一種指定化学物質の排出量等の把握・届出	平成14年12月13日	令和3年6月30日	○
大気汚染防止法（昭和43年法律第97号）	第二章 ばい煙の排出の規制等 第四章 塗装の排気の測定の遵守義務	平成29年6月2日	令和3年6月30日	○
エネルギーの使用の合理化等に関する法律 【省エネ法】（聖和43年法律49号）	第一条・第四条 エネルギーの使用の合理化の目的、措置 第七条 特定事業者の指定 第十四条・第十五条 中長期計画の作成、定期報告の義務	平成30年6月13日	令和3年6月30日	○
フロン排出抑制法(平成13年法律64号)	第一条 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化の遵守義務 (注)漏洩点検・記録	令和1年6月14日	令和3年6月30日	○

### 2) 違反、訴訟の有無

環境関連法規の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

以上

実施日: 2021年8月17日

代表者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

## 8 代表者の取組結果の評価及び見直し

事業年度: 7月～翌年6月

環境目標項目	目標値	評価 (2020年7月～2021年6月)	次年度取組み内容 (2021年7月～2022年6月)
環境経営基本方針		社員が、基本方針を理解し、CO2排出削減・産業廃棄物削減の意識を持ち取組が出来ている。	環境経営基本方針に沿って、更なる効率化、ムダな作業の排除に取り組んで貰いたい。
実施体制		エコアクション21改善推進体制に変更なし	エコアクション21改善推進体制を維持し、変更なく推進する
二酸化炭素排出削減	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	〈二酸化炭素の排出削減〉 目標達成 太陽光発電のCO2排出ゼロシステムの恩恵を受けて、大きく削減する事が出来き、目標達成に至った。	二酸化炭素の排出削減の目標値を変更する (購入電力のCO2排出量がゼロになる為)  〈購入電力〉 目標値は継続 ・生産活動、生産工程の更なる効率化を推進。 ・工場照明の変更を検討する。
購入電力の削減(節電)		〈購入電力の削減〉 目標達成 二見工場の集約化を実施。改善活動を通して各工場の生産活動・生産工程の見直し、効率化の効果が削減実績に現れている	〈化石燃料〉 目標値は継続 ・製品運搬等の運行計画を明確にし、不要な運搬を減少させる事に努める。 ・在庫縮減、物流改善を継続し、更なる作業効率の改善を推進する。 ・灯油を利用する洗浄工程の効率化を図る
化石燃料の削減		〈化石燃料〉 目標達成 軽油の削減は、運航計画を明確化、フォーク作業の効率化により、達成に至った。ガソリンの削減は、リモート会議の影響が大きい。都市ガスの削減は、二見・神戸工場の作業効率の改善が削減に繋がっている。灯油の削減は来期の課題となる	
産業廃棄物の削減	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	全社的には、廃棄物削減の意識が向上し、良く出来ている。しかし今年度は木くずの排出量が増大している為、再利用の検討が必要	産業廃棄物の削減活動がマンネリ化しないように、各工場毎の意識向上活動を継続的に実施する。
廃プラスチックの削減		〈廃プラスチックの削減〉 目標達成 目標達成: 廃棄物の分別の推進効果がよく出ている。削減改善活動がマンネリ化しないよう注視する必要がある	〈廃プラスチックの削減〉 目標は継続 廃プラスチックの削減は、良く出来ている為、ムダな作業を省く事や効率化を継続的に推進する
木くずの削減		〈木くずの削減〉 目標未達成 材料・部品の納入用梱包材が増大し排出量が増えている。梱包材の再利用を推進し削減する事	〈木くず〉 目標値を変更 梱包材が今後も続くため、梱包材・パレットの再利用の促進。
紙の使用量の削減		〈紙使用量の削減〉 目標達成 タブレット化の推進と業務改善より削減出来ている。	〈紙使用量削減〉 目標は継続 会議資料のペーパーレス化を推進する。 タブレット化を計画的に推進する
総排水量削減	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	〈総排水量の削減〉 目標未達成 洗浄工程・水没検査工程での、ムダな作業をしていないか再度確認する事。全社員への節水活動の徹底を行う事。	・洗浄工程、水没検査工程のムダを省き、効率化を推進。 ・5Sパトロール時の蛇口チェック ・朝礼での啓蒙活動により、節水の徹底に努める。  ・目標値は継続
水の総排出量の削減			
化学物質適正管理	適正管理 (6.97kg/台)	毎月の購入量の把握が出来ており、価格管理や使用量管理にも、展開されているので、継続実施をお願いしたい。	管理はよく出来ている。継続して監視を行います。  ・目標値は継続
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み		木製パレットの再利用及び専用パレット推進により廃棄物削減に寄与できている。	引き続き活動を推進(顧客への提案を含む)
代表者による 全体の評価・見直し		エコアクション21の活動を通して、環境負荷の軽減により経費節減にも貢献している。目標未達成の項目は、内容確認を実施し対策する事。 今後も継続して取組み目標を達成出来るように社員全員で更に取り組んで貰いたい。	環境経営方針は継続 生産工程の改善活動の展開を継続し、無駄の削減、経費節減を更に努めて欲しい 前年度未達成の項目は、更なる改善を推進する事
是正事項	有/無	是正事項はありません	

報告者 : 環境管理責任者 山本工場長  
出席者 : 二川社長、蟬塚工場長、植村工場長、中西工場長、家氏課長、川本係長、大霜社員